

下水道機構の『新技術情報』 第160号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

連休は帰省先の沖縄で台風19号に伴う29時間の暴風域に、そして昨夜は東京で再び19号に遭いました。日本列島に大きな爪痕を残した19号。犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに被害に遭われた皆様へお見舞い申し上げます。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第160号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・10月の技術サロンは日本下水道事業団技術戦略部長 藤本氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は10/16(木)に第4審査証明委員会と第5審査証明委員会を、10/17(金)に第5審査証明委員会を開催します

■Tea Break

・秩父札所巡り(資源循環研究部 S.I.さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回は、当機構企画部の中村さんより唐辛子小話(続編)をお届けします！

■国からの情報

・10/9付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●10月の技術サロンは日本下水道事業団技術戦略部長 藤本氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは、「JSの技術開発と国際業務」でした。まず、JSの技術開発として、JSの過去から含めた技術開発の取り組み、現在進行の共同研究、B-DASHプロジェクトへの参画、JS新技術導入制度などを、次に、JSの国際業務として、海外向け技術確認

や国際標準化、埼玉県によるタイ WMA 研修の支援など、最後に下水道国際協力の事例紹介として、ご自身がこれまで携われたタイ国への協力状況についてご講演いただきました。

さて、次回のサロンは、11月13日(木)17:00から18:00。講師は当機構機企画部長 中島が「インドネシアにおける汚水マネジメントの状況」をテーマに開催します。お申し込みは機構ホームページから→多数の皆様のご参加をお待ちしております!

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

※ホームページにて、次回開催日を間違えて一旦アップしたため、RSS登録の皆様へは11月6日で開催日がお知らせしています。RSS登録の皆様、ご迷惑おかけしました。

。。。。

機構の動き (機構の行事予定です)

。。。

●平成26年10月16日(木)14:00~17:00

行 事 : 平成26年度 第2-1回 第4審査証明委員会
場 所 : 静岡県掛川市
案 件 : 26年度新規申請案件1件の現場試験立会・審議

●平成26年10月16日(木)14:00~17:00

行 事 : 平成26年度 第2-2回 第5審査証明委員会
場 所 : 埼玉県戸田市
案 件 : 26年度新規申請案件1件の現場試験立会・審議

○平成26年10月17日(金)10:00~15:00

行 事 : 平成26年度 第2-3回 第5審査証明委員会
場 所 : 新潟県新潟市新津浄化センター
案 件 : 26年度新規申請案件1件の現場試験立会・審議

○平成26年10月23日(木)10:00~15:00

行 事 : 平成26年度 第2-1回 第3審査証明委員会
場 所 : 兵庫県神戸市西区伊川谷町
案 件 : 26年度新規申請案件1件の現場試験立会・審議

○平成26年10月24日(金)10:00~15:00

行 事 : 平成26年度 第2-1回 第2審査証明委員会
場 所 : 兵庫県小野市
案 件 : 26年度新規申請案件1件の現場試験立会・審議

○平成26年11月13日(木)17:00~18:00

についてPR動画を作成し、YouTubeで公開しています。詳細は下記HPをご覧ください。

→ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kisha/h26/141006-1.html>

●無翼扇型送風機「ホールエアストリーマ（HAST）」が建設業労働災害防止協会「顕彰基金による」再優秀賞を受賞しました【東京都下水道サービス(株)】

本技術は、管路内作業の安全性向上を目指して、大量の空気を連続して送風できる新しい換気システムで、東京都下水道サービス(株)、東京ガス・エンジニアリング(株)、イーストロード(株)、エビスマリン(株)の4社による共同開発、並びに静岡理工科大学の技術協力により研究開発を進めてきたものです。詳細は下記HPをご覧ください。

→ <http://www.tgs-sw.co.jp/business/technical/01/summary/32.php>

●下水道活性汚泥法100周年イベントが開催されます【埼玉県】

下水の処理方法として最も一般的に行われている「活性汚泥法」が実用化されてから、今年で100年を迎えます。埼玉県下水道局では、この節目をとらえ、これまで果たしてきた下水道の役割や重要性を再認識するとともに、これからの下水道を考える契機とするため記念イベントを開催します。国土交通省、日本下水道事業団及び日本下水道協会が後援しています。

○日時：平成26年10月18日（土） 13:30～16:00（12:30受付開始）

○場所：埼玉県荒川水循環センター（戸田市笹目5-37-14）

（埼京線戸田駅西口から無料シャトルバス運行）

※シャトルバス時刻 9:00、10:00、11:00、12:00、13:00

○イベント内容

- ・基調講演「下水道 これまでの100年、これからの100年」

滝沢智 東京大学大学院工学系研究科教授

- ・パネルディスカッション「埼玉県の下水道の未来を考える」

※当日のイベント会場では、下水道啓発イベントとして「荒川・下水道水フェスタ2014」が同時開催（9時30分～16時）されています。小さなお子様も楽しめるイベントも盛りだくさんですので、ご家族での御来場もお待ちしております。

案内はこちら→

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/naruhodogesuido/gesuidokasseiodeikinen.html>

●下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会 in 石川【(独)土木研究所】

低炭素・循環型社会を構築するために、都市や農村から発生するバイオマスを資源やエネルギーとして、地域で有効活用することが求められており、下水処理場においては下水汚泥の嫌気性消化工程で発生するメタンガスの有効利用に期待が高まっています。

土木研究所、石川県、および金沢大学では民間企業との共同研究「小規模処理場施設に適したメタンガス有効利用支援に関する共同研究」を、平成24年度～25年度に実施しました。今回、下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術に関する共同研究の成果、石川県での先進的な取り組み、土木研究所開発技術などを紹介する講習会を、下記の通り開催します。

○開催日：平成26年10月28日（火） 14:00-17:00（受付開始 13:30～）
○場所：石川県地場産業振興センター本館3階第4研修室（石川県金沢市鞍月2-1）
○共催：（独）土木研究所、石川県、金沢大学理工研究域サステナブルエネルギー研究センター
○対象：下水道事業に関わる技術者など
○定員：50名程度 事前の申し込みが必要 参加費無料
申し込みはこちらから→ <https://www.pwri.go.jp/jpn/news/2014/1028/form.html>

=====

- ◆豪雨被害の対策強化へ有識者懇 国交省、11月めど提言〈10/5 日本経済新聞〉
http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG0500S_V01C14A0CR8000/
- ◆積水化学、下水熱 空調熱源に 4階建てビル、電力費用4割減〈10/7 日本経済新聞〉
http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ0602K_W4A001C1TJ2000/
- ◆海水から水、低コストで 神戸大が膜開発〈10/7 日本経済新聞〉
<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ078060340W4A001C1TJM000/>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>
